



今やるべきこと

先週の土曜日は日比谷の入学相談会ということで、日比谷を目指している中3生（とその保護者の方々）と面談した。V模擬などの結果を持参する方もいらしたが、あの模試に関して言えば、日比谷を目指す中3生の母集団はある程度固まってきているし、調査書点なども加味して判定を出しているわけだから、やはりこの時期に「S」とか「A」とかの判定が出ていないと不安になるというのが実際だろう。

しかし、君たちが受けている模試は大きく違う。判定において、当然のことながら調査書点などないわけだから、その日の結果が全てとなるわけだし、一番の違いは浪人生なども含まれている母集団の質の差である。高校受験の際には浪人生はまず問題にならないし、いわゆる私立の中高一貫校も気にする必要がない。しかし、君たちが受けている模試の母集団には、多くの浪人生や中高一貫校の生徒が含まれている。だから、当然のことながら今の段階で「A」や「B」といった判定はつきにくいわけで、そのことで悩む必要は全くないのだが、中学時代に「S」や「A」を取ってきているとしたら、やはり不安にならずにはいられないだろう。

浪人生や中高一貫校の生徒は、もはや学力はピークに来ているわけだし、二次対策までした上で模試に臨んでいる（とくに、いわゆる「冠模試」ではその傾向が顕著に出る）。一方、君たちはまだまだ理社が完成したとはいえない状態だろうし、記述対策もセンター以後の添削指導で本格化するわけだから、まさにこれから力が伸びていく段階にあるといっても過言でないのである。

というわけで、模試の結果に一喜一憂する必要はない。というか、今さら一喜一憂していな

いで、その復習を徹底しなければいけない。一度復習しただけで復習したつもりになっている人がいるが、模試の復習は2度目以降に効果が出るのだから、特に国数英に関しては、もう一度手元にある模試を徹底的に復習して、出題されえた問題については、完全に理解できたと思えるまで復習すべきである。

相談に来る人にはよく話すのだが、とにかく調子が悪いなあと思ったら、今まで使っていた問題集や模試の復習をすることを勧める。一度やった問題をやったって意味がないと思っている人が多いが、一度やった問題が完璧にできるからこそ、新しい問題に取り組めるのだという真理を忘れてはならない。中途半端をいくら積み上げても、結局新しい問題ができるようにはならないものである。むしろ、復習することで自分が見落としていたことを見つけたり、「これってこういうことだったのか！」という発見があるとすれば、それこそが新しい問題を解く発想に結びついていくのである。

*

センターまで約1ヶ月、センターから二次試験までも約1ヶ月。とすれば、今やらなければならないことはセンターである。センターと二次対策の割合としては「9：1」とか「4：1」くらいのイメージだろうか。センターが良ければ（私立なども含めて）選択の余地が大きく広がる。しかし、それはその逆もまた真であることを意味する。今後は理社を徹底しながら、腰を据えてセンターに向き合うことが大切だ。そして、これも繰り返しになるが、国語に関しては、選択肢にこだわるのではなく本文にこだわる。これが正しい勉強法であることを忘れずに。